

MCCIR

vol. **28** 株式会社メガチップス
2018年3月期のご報告
2017年4月1日~2018年3月31日

株主メモ

決算日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 配当基準日 毎年3月31日
 この他、取締役会の決議により、
 予め公告して基準日を定めることが
 できます。

1単元の株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502
 お問合せ先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話：0120-094-777(通話料無料)
 受付時間：土・日・祝祭日等を除く
 平日9:00~17:00

公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html>
 (ただし、電子公告によることが
 できない事故、その他のやむを得
 ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

2018年3月期のご報告
2017年4月1日~2018年3月31日

MegaChips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は植物油インキを
使用して印刷しています。

郵便はがき

261-8790

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟5F

株式会社メガチップス
広報課 ハガキ集計係



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

性別：男性 女性
 年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代~
 職業：会社員 自営業 公務員 主婦 その他()
 当社株式保有数：
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
 当社株式保有期間：
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満
5年以上10年未満 10年以上
 居住地：
北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国
九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。
 ※2018年8月15日までに投函ください。

キリトリ線

ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

料金受取人私郵便

美浜局承認
4004

差出有効期間
平成30年8月
31日まで
(切手不要)

P2 社長が語る業績と戦略

売上高、のれん等償却前営業利益とも過去最高を達成。
グローバル企業として中長期に成長していくための
“種まき”も順調に進んでいます。

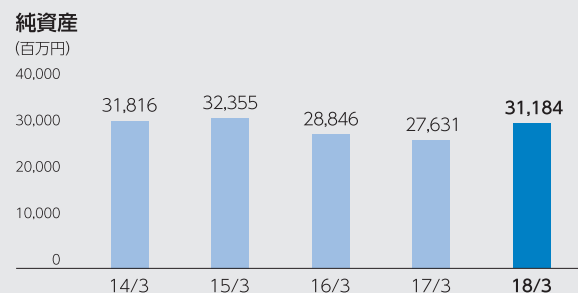
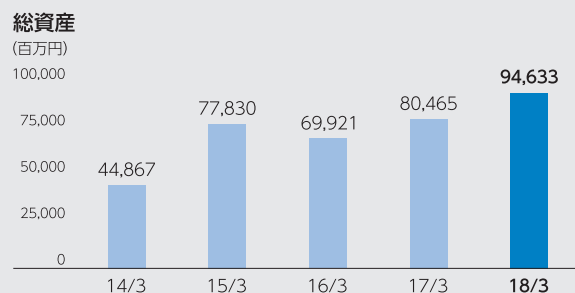
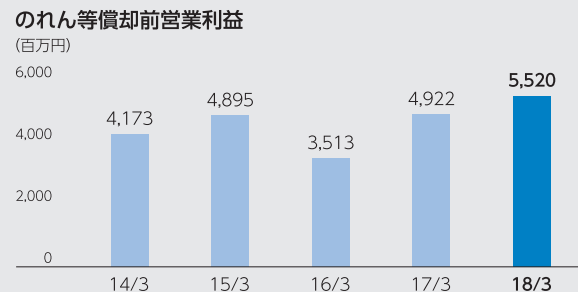
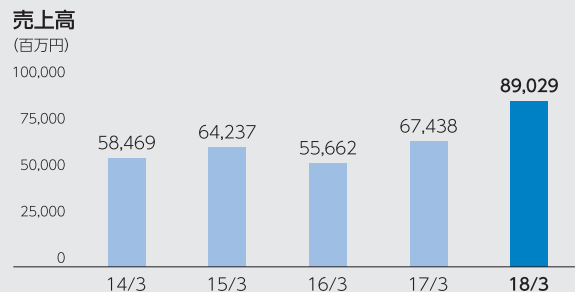
P5 特集 ダイバーシティへの取り組み



株式会社メガチップスおよび連結子会社 3月31日に終了した連結会計年度

| | 2014/3 | 2015/3 | 2016/3 | 2017/3 | 2018/3 |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 会計年度(単位:百万円) | | | | | |
| 売上高 | 58,469 | 64,237 | 55,662 | 67,438 | 89,029 |
| 売上原価 | 43,348 | 45,263 | 39,233 | 48,667 | 67,603 |
| のれん等償却前営業利益 | 4,173 | 4,895 | 3,513 | 4,922 | 5,520 |
| のれん等償却後営業利益 | 4,173 | 4,895 | -335 | 1,926 | 2,709 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,725*1 | 1,251 | -782 | -947*2 | 1,948 |
| 会計年度末(単位:百万円) | | | | | |
| 総資産 | 44,867 | 77,830 | 69,921 | 80,465 | 94,633 |
| 純資産 | 31,816 | 32,355 | 28,846 | 27,631 | 31,184 |
| 1株当たり情報(単位:円) | | | | | |
| 1株当たり当期純利益 | 202.40 | 55.64 | -35.24 | -44.14 | 90.05 |
| 1株当たり純資産 | 1,362.64 | 1,438.09 | 1,341.86 | 1,280.71 | 1,435.37 |
| 期末発行済株式総数(単位:株) | 24,038,400 | 24,038,400 | 23,038,400 | 23,038,400 | 23,038,400 |

*1 2014年3月期は、川崎マイクロエレクトロニクス(株)の吸収合併に伴い、承継した税務上の繰越欠損金等で回収可能性の認められるものについて繰延税金資産を計上し、これにより発生した税額調整(利益)23億7千4百万円を「法人税等調整額」に含めて計上しています。
 *2 2017年3月期は、当社の生産委託先であるマクロニクス社(Macronix International Co.,Ltd.)の株式評価損を主とする「投資有価証券評価損」11億5千8百万円を「特別損失」に計上しています。



Contents

- 1 財務ハイライト
- 2 社長が語る業績と戦略
- 3 会社情報/役員構成
- 4 株主様ラウンジ
- 5 特集 ダイバーシティへの取り組み
- 6 研究開発
- 7 会社情報/役員構成
- 8 株主様ラウンジ

見直しに関する注意事項
 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

売上高、のれん等償却前営業利益とも過去最高を達成。グローバル企業として中長期に成長していくための“種まき”も順調に進んでいます。



代表取締役社長 高田 明

2018年3月期の振り返り

ASIC事業、ASSP事業とも好調に推移し、売上高、のれん等償却前営業利益が過去最高となりました。

当社グループは、安定した事業基盤であるASIC(顧客専用LSI)事業と、成長市場で高い競争力を持つASSP(特定用途向けLSI)事業を両輪として、中

長期の継続的成長に向けた施策を推進しています。

2018年3月期の市場動向としては、ASIC事業ではゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)、ASSP事業では、Smart Connectivity製品(DisplayPort)とMEMSタイミングデバイス製品の売上が拡大しました。なかでもMEMS製品は、米国の大手IT企業との取引を中心にモバイル向けの売上が伸長し、前期と比べ売上高が約50%増加しました。

その結果、売上高は890億2千9百万円(前年同期比32.0%増)となりました。

営業利益については、M&A(合併/買収)に伴うのれん等償却前の営業利益は55億2千万円、償却後の営業利益は27億9百万円(同40.6%増)、経常利益は22億7百万円(同121.9%増)となりました。特別利益として、当社製品の生産パートナーであるマクロニクス社(台湾)の株式売却益が9億5千5百万円、特別損失として固定資産除却損が6億4千6百万円それぞれ発生しました。また、米国において税制改革法が成立し、税率が引き下げられたため、繰延税金負債の取り崩しに伴い、約5億円の利益が法人税等調整額に計上されました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は19億4千8百万円(前年同期は9億4千7百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

売上高、のれん等償却前の営業利益がともに過去最高となったほか、成長分野への取り組みも進展し、2018年3月期は概ね順調な1年であったと認識しています。

2019年3月期中期経営方針

車載、産業機器、高速通信など成長分野でのグローバル展開を進めます。

デジタル技術が急速に進展するなか、産業や暮らしは様変わりしています。今後はさらに情報通信技術に依存した産業構造にシフトしていくものと考えられます。それに伴い、電子機器には高機能化と同時に小型・省エネ化が求められ、アプリケーションも大きく広がっています。キーデバイスである半導体製品に対するニーズも、大きく変わり、多様化していきます。

我々は、こうした動きをさらなる成長の機会と捉え、今後の拡大が見込まれる分野に焦点を絞ってグローバルな事業展開を進めていきます。

ASIC事業では、高速有線通信分野の当社独自のコア

技術を用い、車載分野と、FA、ロボティクスなどの産業機器分野向けに、事業拡大を図ります。独自のコア技術を活用した海外での提案営業活動に力を入れ、今後5年間でASICの海外売上高を国内のそれに匹敵する規模にまで高めていきたいと考えています。

ASSP事業では、MEMSタイミングデバイスを核とし、5G通信インフラ、車載、IoT分野の展開を図っていきます。MEMSタイミングデバイスは、正しい時間で電子機器を動作させるための基準信号(クロック)を生み出す部品であり、あらゆる電子機器に用いられています。当社グループの米国SiTime社が開発したMEMSタイミングデバイスは、半導体と同じシリコンを材料としており、これまで主流であった水晶製品を凌駕する精度や高い信頼性、耐衝撃性、低消費電力など、数々の優れた性能を有しています。

加えて、超小型なため、モバイル・ウェアラブル機器に最適であり、多くの企業に採用されています。

こうした優位性から、SiTime社製品は累計出荷10億個を超え、MEMSタイミングデバイス市場におけるシェアは90%以上です。さらに、より高性能な新製品により携帯基地局(5G)や情報通信ネットワーク装置向け、自動運転をはじめとする車載向けなど、新たな市場の獲得を進めています。

また、2018年5月、当社は高速有線通信規格「G.fast」製品のリーディングカンパニーSckipio社(イスラエル)に戦略的出資を行いました。このG.fast規格は、米欧を拠点とする複数の大手通信キャリア会社が採用するなど米国やヨーロッパで普及が始まりつつあり、世界的に急速な拡大が見込まれます。今回の出資でSckipio社とのパートナーシップをさらに強化し、急成長するネットワーク機器および産業機器市場への参入を加速させます。

このように当社グループは、グローバル企業として持続的に成長していくための施策を推進しています。

2019年3月期の業績見通し

中長期の継続的な成長に向けて、成長分野に引き続き集中投資します。

今後、電子機器のさらなる需要拡大が見込まれるなか、当社グループは既存事業を伸ばしつつ、

2019年3月期の連結業績予想(単位:百万円)

| | 2019年3月期 予想 | 2018年3月期 実績 |
|---------------------|----------------|----------------|
| 売上高 | 95,000 | 89,029 |
| のれん等償却前営業利益 | 5,000 | 5,520 |
| のれん等償却費* | 2,700 | 2,811 |
| のれん等償却後営業利益 | 2,300 | 2,709 |
| 経常利益 | 1,800 | 2,207 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,000 | 1,948 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 46.03 | 90.05 |

* 企業買収によるのれん及び無形固定資産の償却費

成長分野における“種まき”として先行投資を継続します。

具体的には、車載・産業機器分野および通信インフラ分野における重点開発投資と、SiTime社の新たなデザイン拠点設置、新技術開発投資、販売網の拡充などの体制強化を図ります。

2019年3月期における通期の連結業績は、ゲーム機分野、MEMSタイミングデバイス分野の売上が引き続き拡大すると予測しており、売上高は950億円(前年同期比6.7%増)を見込んでいます。利益は減少する見込みですが、これは前述のとおり、中長期の成長に向けた先行投資によるものです。

株主様への還元について

資本効率の向上を目指すとともに、積極的な利益還元に努めています。

当社は株主の皆様への適切な利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけています。

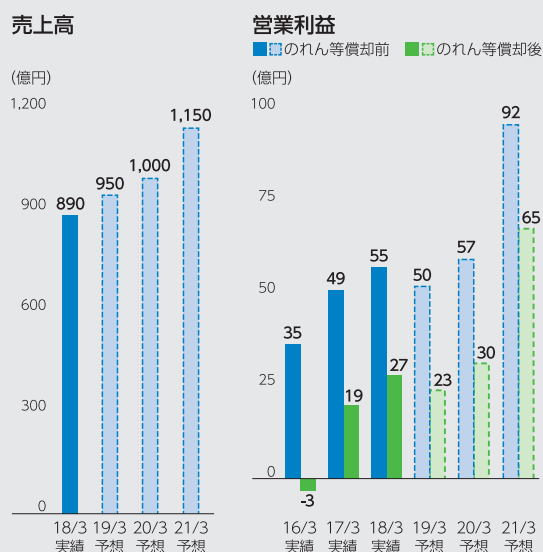
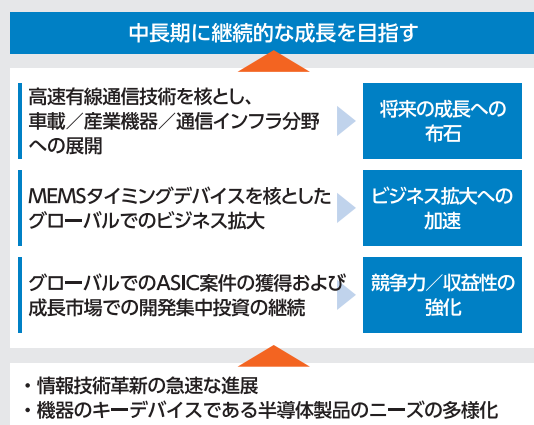
株主配当については、中期的な経営状況の見通しを考慮した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額とします(ただし、会計・決算・税務上の特殊要因を勘案の上、加減算することがあります)。これを期末時点で保有する自己株式数を差し引いた期末発行済株式数で除した金額を配当金として決定し、年1回実施する方針です。

この方針に沿って、2018年3月期の1株当たりの配当は、前期に引き続き年間34円と決定しました。2019年3月期の1株当たりの年間配当は未定ですが、方針に基づいて実施する予定です。

今後も、株主の皆様への積極的な利益還元に努めるとともに、機動的に自己株式取得を実行し、株式価値と資本効率の向上に努めてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年3月期 中期経営方針および業績予想

新しいアプリケーションを創造するとともに、システムソリューションを提供し続けるグローバル企業として継続的な成長を目指す



用語解説
KEYWORD

税制改革法▶2017年12月22日に成立した米国の税制を変更する法律。当社の米国連結子会社に適用される連邦法人税率が現行の35%から2018年より21%に引き下げられました。

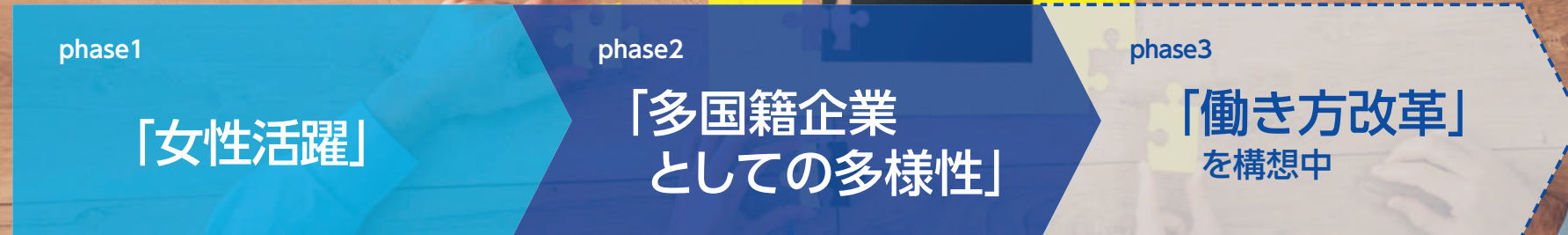
FA▶[Factory Automation](工場自動化)の略。工場における作業・工程を機器やシステムを用いて自動化すること。生産性の向上、品質の均一化、機器故障やライン停止の未然防止などのメリットがあります。

ロボティクス▶センサ、人工知能(AI)など、ロボットに関する技術研究のこと。将来的な労働力不足が予想されるなかで各分野へのロボット導入は不可欠とされており、市場拡大が見込まれています。

ダイバーシティへの取り組み

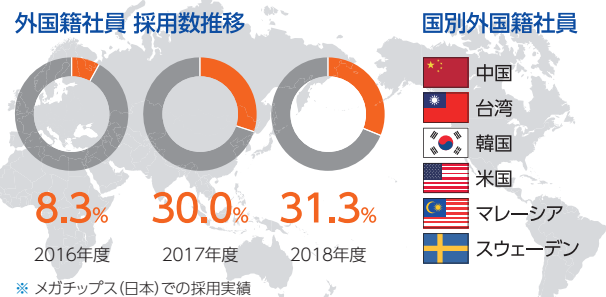
メガチップスは、多様な人が働く職場のなかで、誰もが切磋琢磨し参画できる会社を目指し、2014年度からダイバーシティの推進に力を入れています。女性活躍をテーマとして始まったphase1の活動の範囲は着実に広がっており、今回はphase2の取り組みを紹介します。

活動の全体像



phase2 「多国籍企業としての多様性」を競争力にするために


中長期の成長に向けて海外での事業展開を進めるメガチップスでは、海外拠点と国内の社員がチームを組むといった連携を強化しているほか、外国籍社員の採用も進めています。そこで、ダイバーシティ推進活動のphase2では、国籍を問わず円滑なコミュニケーションが実現できる仕組みや職場づくりに向けた活動を展開しました。




主な取り組み

- 2016年7月 国際女性ビジネス会議参加
 - 新人研修で台湾の社員と交流を図るプログラムを実施

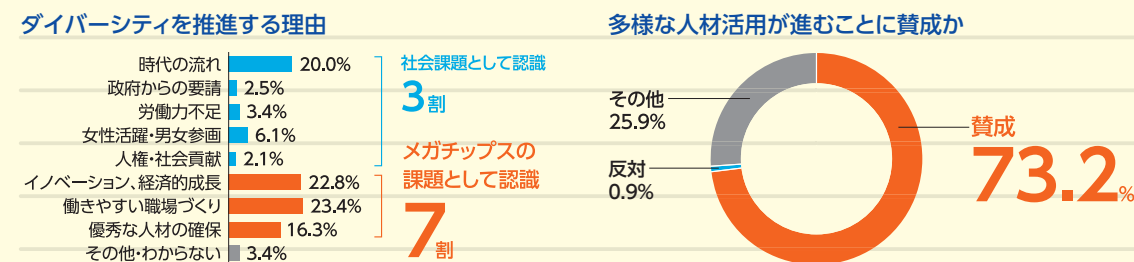
海外駐在員、現地社員とのディスカッションを通して、文化や価値観の違いを共有し、「グローバル人材」としての意識向上を図りました。


- 8月 海外拠点との交流
- 9月 ダイバーシティ講演
- マネジメント研修
 - 「多国籍マネジメント」について他社事例から学ぶ

多国籍の人事マネジメント経験のあるダイバーシティ担当者から各社の課題解決事例や手法について伺うことで、社員の課題・問題への気づきを促しました。


- 11月 パネルディスカッション
- 12月 意識調査

社員の意識調査(アンケート抜粋、2018年3月調べ)



「イノベーション」「優秀な人材の確保」など、メガチップスの成長に必要な活動として捉えられています。

7割以上の社員が、多様な人材の活用に賛成しており、ダイバーシティを受け入れる考えが浸透しています。

ダイバーシティ推進についての期待、要請

- ビジネスの発掘に役立てるため、多様な経歴×多様な知識×アイデア出しの土壌を作り上げていきたい。
- 各拠点の社員とコミュニケーションを図るため、自身の考えに基づいて意見を主張するようなトレーニングが必要だと思う。
- 女性・高齢者・障がい者・外国人・時間制約社員・LGBTなど、それぞれを対象とした人事施策を作ってほしい。
- 推進活動の結果を社内報やイントラサイトで共有することで、さらに浸透が進むのではないかと。

column 外国籍新入社員から見たメガチップス



Display周辺LSI事業本部
金 豊毅

語学力を活かしてグローバルに働きたいです
大学時代の留学生活を通じて日本が好きになりました。私は中国語、韓国語、日本語が話せるため、これからもっと技術力を高めた上で、LSIの専門知識を活かし、海外赴任などグローバルな仕事に関わっていきたくです。



LSI設計統括部
Alis Ziana Binti Zaba

先輩や上司と円滑に仕事を進めています
世界トップレベルの技術を持つ日本の企業で働くことが夢でした。現在はアナログ回路の設計を担当し、自分だけでは解決できないこともあります。先輩がサポートしてくれます。上司にも相談しやすい雰囲気の職場です。

アナログ/デジタル/MEMS技術を融合し、 独創的な製品を創出しています

メガチップスは、独自のコア技術を活用して顧客ニーズに応えるとともに、他社製品との差別化を実現する応用技術の研究開発に取り組んでいます。また、こうした研究開発による優位性と独自性を確保するために、知的財産の権利化を推進しています。

研究開発方針

独自のアナログ/デジタル/MEMS技術を
駆使したシステムLSIおよび
当該製品を利用した
ソリューションを提供すること

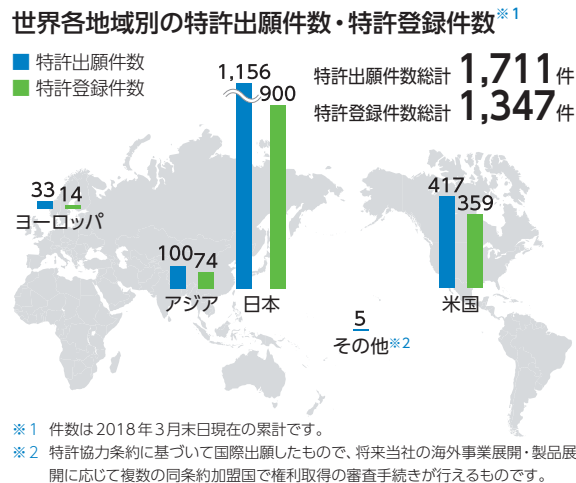
2018年3月期 研究開発の主な成果

| | | |
|-----------------|---|---|
| LSI製品の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● ゲーム機向けゲームソフトウェア格納用LSI ● 液晶パネル向けタイミングコントローラLSI ● 光通信向けIP、LSI ● アナログフロントエンドLSI | <ul style="list-style-type: none"> ● 有線(同軸線、電源線)マルチホップ通信向けLSI ● Smart Connectivity LSI (DisplayPort) ● MEMSタイミングデバイス |
| その他製品の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● フルデジタル映像記録・伝送システムの機能拡張およびカスタム開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ用カメラシステムのラインナップ追加開発 |

知的財産戦略

ファブレスメーカーであるメガチップスにとっては、研究開発の成果や独創的なアイデアなどの知的財産が事業競争力の源であり、知的財産を権利として保護することが競争力や成長力の向上につながります。

2018年3月期は、開発製品における技術として「高速有線通信技術」「有線マルチホップ通信プロトコル」「時間デジタル変換回路」「ゲーム機向けセキュリティ」に関する特許を出願しました。また基礎/応用技術として「アナログ回路技術」「階層画像符号化による画像認識システム」に関する特許を出願しました。



TOPICS

MEMSタイミングデバイスの累積出荷数が10億個を突破

2018年2月、米国SiTime社のMEMSタイミングデバイスの累積出荷数が10億個に到達しました。SiTime社の製品は過酷な環境下でも信頼性と精度に優れるほか、小型・低消費電流といった特長があり、FAから自動車、モバイル機器まで幅広く採用されています。MEMSタイミングデバイス市場におけるシェアは90%を超えており、SiTime社のCEOは「SiTime製品は今後50年間の最適な選択肢となるでしょう」と話しています。

1 Billion Units Shipped

SiTime

| | |
|------|--|
| 会社商号 | 株式会社メガチップス |
| 英文商号 | MegaChips Corporation |
| 設立 | 1990年4月4日 |
| 上場 | 東証1部 (証券コード6875) |
| 資本金 | 4,840百万円 |
| 従業員数 | 883名 (2018年3月31日現在 連結) |
| 事業内容 | 独自のアナログ/デジタル/MEMS技術を駆使したLSIおよびMEMSタイミングデバイスの設計、開発、生産までトータルソリューションを提供 |

| | |
|-----|---|
| 所在地 | 本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪急ビル TEL. 06-6399-2884 (代表) |
| | 東京事業所 〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル |
| | 幕張事業所 〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1丁目3番地 |
| | 主な海外拠点 MegaChips Technology America Corporation SiTime Corporation MegaChips Taiwan Corporation MegaChips Corporation, China India Branch |

役員

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 代表取締役社長 高田 明 (たかた あきら) | 専務取締役 藤井 理之 (ふじい まさゆき) | 専務取締役 吉清 恭一 (きっせい きょういち) | 常務取締役 肥川 哲士 (ひかわ てつお) | 取締役 林 能昌 (はやし よしまさ) |
| 取締役 下前 泰人 (しもまえ やすと) | 取締役 明山 浩一 (あけやま こういち) | 社外取締役 赤星 慶一郎 (あかほし けいいちろう) | 社外取締役 游 敦行 (いう どうしん) | 社外取締役 頼 俊豪 (らい じゅんはお) |
| 常勤監査役 角 正 (すみ ただし) | 社外監査役 小原 望 (おはらのぞむ) | 社外監査役 北野 敬一 (きたの けいいち) | 社外監査役 浅田 勝彦 (あさだかつひこ) | |

※ 取締役 赤星 慶一郎氏、游 敦行氏および頼 俊豪氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 ※ 監査役 小原 望氏、北野 敬一氏および浅田 勝彦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

2018年度の株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のご支援に対して感謝の意を表すため、株主優待制度を設けています。3月31日現在で当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象に、心ばかりの品を贈呈させていただきます。

2018年度は、次のとおり所有株式数に応じて、百貨店提供の優待品カタログからお選びいただきました商品1点をご優待品としてお届けしています。



株式会社大丸松坂屋百貨店カタログ

| 所有株式数 | カタログ内容 |
|--------------|--|
| 100株以上300株未満 | 2千円相当の商品 |
| 300株以上500株未満 | 3千円相当の商品 |
| 500株以上 | 5千円相当の商品 もしくは、当社指定の任天堂社製ゲーム機用ソフトウェア |

ご注意 当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された情報をもとに、対象の株主様へご案内をお届けしています。ご案内を確実にお届けするため、お引越しなどでご住所を変更された場合は、口座開設先の証券会社等でご住所の変更手続きをしていただくとともに、お近くの郵便局の窓口へ転居届をご提出いただきますようお願いいたします。なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

2017年度 人気優待ランキング

- 1 豊水梨
- 2 肩口フィット枕(西川リビング)
- 3 宮崎県産黒毛和牛しゃぶしゃぶ用
- 4 チキンバラエティセット
- 5 新潟県産特別栽培米こしひかり
- 6 味付海苔
- 7 ブラッシングブラシ(ケント)
- 8 焼豚・ウイナーセット(伊藤ハム)
- 9 横浜ロイヤルパークホテル 野菜カレー
- 10 レアチーズケーキ

優待品のお申し込みや配送に関するお問合せ

メガチップス株主優待事務局
フリーコール：0120-995-170
受付時間：9時～17時 月～土曜日(祝日を除く)

今後の活動予定(IRカレンダー)

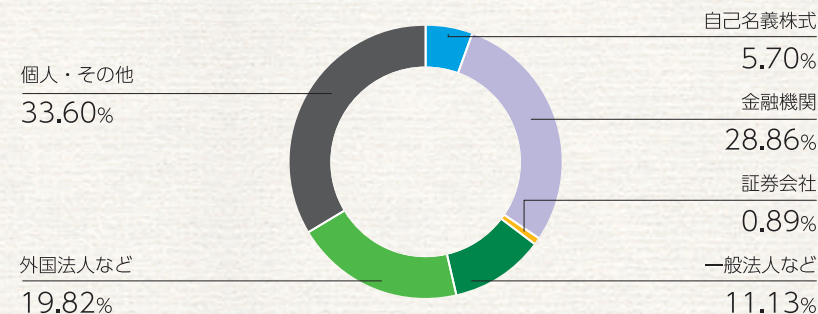
| 2018年 | | 2019年 | |
|-----------------------------------|--|-------------------------|---|
| 7月 アニュアルレポート (英文版)発行 | 8月2日 第1四半期 決算発表 | 11月 中間MCCIR発行* | 1月31日 第3四半期 決算発表 |
| ホームページ掲載情報 ●アニュアルレポート (英文版) | ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第1四半期報告書* ※8月9日発行予定 | ホームページ掲載情報 ●中間MCCIR* | ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第3四半期報告書* ※2月8日発行予定 |
| | 11月2日 第2四半期 決算発表 | | |
| | ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第2四半期報告書* ※11月9日発行予定 | | |

当社の株主構成

所有者別株式分布(2018年3月31日現在)

株主数
17,926名

発行済株式総数
23,038,400株



当社の社会貢献活動

メガチップスは、今後の社会、未来を担う各種イベントに協賛しています。



第19回キャンパスベンチャーグランプリ大阪 表彰式



第22回国際女性ビジネス会議

Q1 株主通信「MCCIR」vol.28の内容で、興味を持たれた記事・コーナーをお選びください。(複数回答可)

- P1 財務/ハイライト
- P2-4 社長が語る業績と戦略
- P5-6 特集「ダイバーシティ」への取り組み
- P7 研究開発
- P8 会社情報/役員構成
- 株主様ラウンジ (2018年度 株主優待)
- 株主様ラウンジ (IRカレンダー)
- 株主様ラウンジ (株主構成)
- 株主様ラウンジ (社会貢献活動)

Q2. 今後、詳しく掲載を行ってほしい情報はありますか。(複数回答可)

- 経営者メッセージ
- 経営方針
- 中期経営計画
- 業績・財務情報
- 事業内容
- 新技術情報
- 配当
- CSR情報
- その他 ()

Q3. 今後強化してほしいIR活動・ツールはありますか。(複数回答可)

- 当社ホームページ
- MCCIR (株主通信)
- 個人投資家説明会
- IRフェアへの出展
- 株主総会
- IR雑誌や新聞への掲載・広告出稿
- その他 ()

Q4. インターネットを閲覧されますか。

- する
- しない

Q5. 株主通信「MCCIR」のご感想またはIR活動へのご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

IR活動の充実に向け
株主様アンケートにご協力ください

(2018年8月15日)
まで受付